

寺報

No.591

平成28年11月

蓮華寺
發行

御聖訓

一滴あつまりて大海となる、
微塵つもりて須弥山となれり。』

『撰時鈔』



(解説)

あの大きな海も、空から降る一滴の水が集り出来たものであり、また仏教の世界の中で一番高く、かつ、世界の中心にそびえる須弥山という山も小さな塵が積もって出来たものなのです。

これと同じ様に、我々も毎日毎日法華経・お題目を唱え続けますと、自分が気が付かないうちに大きな功德となつて現れてくるものであるし、逆に毎日毎日不心得な事を重ねていきますと、気が付かないうちに大きな罪業となり、最後には取り除く事が出来なくなつてしまふのです。

最近、様々な悪業を積み過ぎて、取り返しがつかなくなる人が如何に多い事でしょうか。

しかし、毎日の法華経・お題目の積み重ねは、必ずこの生きる事に疲れた者や、未来を見失つた者の為には良き薬となり、また血となり肉ともなつて生きる勇気を与えてくれます。

どうか皆様は、この功德を積み、徳を重ねる事の出来る法華経・お題目の信仰を持ち続けて下さい。

檀信徒研修会のお知らせ

十一月十九日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本・事務所にて)、数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張って参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

*自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましよう。

②足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

今年度最後の研修会です。

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十二年生れの女兒

◎五歳・平成二十四年生れの男児

◎三歳・平成二十六年生れの女兒

となりませんが、ご家庭の事情により「満年齢」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」^{きふだ}「千歳飴」^{ちとせあめ}「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



法華経を歌によむ狂歌師

太田蜀山人 (一七四九〜一八二三)

蜀山人^{しよくざんじん}は江戸後期に出た文学者であるが、コツケイな内容を短歌で詠む^よ【狂歌師^{きやうかしかし}】としてよく知られています。

本名は藁^{わら}、他のペンネームとして(南畝^{なんぼ})とも称しました。

蜀山人は一応、幕府直参の御家人ではありませんでしたが、生活面ではあまり芳しくなく、貧乏武士であったといわれています。

それでも一狂歌師にとどまらず、その才能は素晴らしく漢学・国学・詩文・紀行日記から幕府の制度、財政の研究資料の作成などと幅広く活動していました。

そして、三十九歳の時、突如として狂歌の世界と縁を切り、その後熱心に働きまして大坂の銅座の役職に就きました。

しかし、この銅座の勤務の時に、周りから狂歌を頼まれて、止むを得ずに使ったペンネームが(蜀山人)なのです。

中国では銅山の事を(蜀山)という為に、それにあやかって付けたのでしよう。

でも、その名が一番有名になったとは、いかにも狂歌師らしいといえます。

さて、蜀山人の家は代々法華経を信仰し、特に父母が熱心な信者であり、朝夕のお勤めと香花を絶やさず、また池上・本門寺で行われる行事には必ず参拝したといわれています。

また蜀山人自身も大変熱心な信者で、友人が出版した日蓮大聖人のご一代を、絵を主体にして説明した『高祖累歳録』の序文を書いています。

更に、『半日閑話』や『一話一言』という著書に、日蓮大聖人に関する記事や宗門の著名な寺院なども紹介したのでした。

この様に、常に蜀山人は法華経を人生の支えとし、七十五年の生涯を終えたといわれます。

法華経を詠んだ歌に

「慈悲心も 仏法僧も 一こゑの ほう法華経に し くものぞなき」とあります。

日蓮宗「大荒行堂」

見舞団参のお知らせ！

今般、当山勤務の『加藤曉宏』上人が日蓮宗・大荒行堂に初行として入行され、現在も厳しい修行に毎日明け暮れています。

そこで、加藤上人の激励の為に左記の日程で、団体の参拝を計画しました。

どうか、荒行僧の面会と修行僧が百人で行うご祈祷を受けて見て下さい。

素晴らしい感動を、皆様は受けるでしょう。

専用のお申込み用紙にご記入の上、お早めにお申込み下さい。

記

日程：平成二十八年十二月八日（木）

九日（金）

旅費：六万九千円（一泊二日・新幹線利用）

募集：三十名

《今回の参拝寺院》

『**正中山法華経寺**』（千葉県）

現在、「大荒行堂」が開設されている日蓮宗の大本

山で、日蓮大聖人御真作の鬼子母神様が祀られている名利寺院。

『**真間山弘法寺**』（千葉県）

奈良時代に法相宗の「行基」が建立したお寺で、後に「弘法大師・空海」が伽藍を整え真言宗に、更に天台宗となったが、最後は時の住職が法論に負け、日蓮宗に改宗し、現在本山となっている由緒寺院。

『お賽銭箱』ご奉納のお礼

今般、境内に安置されています「永代供養塔」「水子観音像」「日持上人石碑」の前に、新たに三基のお賽銭箱が、野辺地にお住まいの『**亀田千千光**』様よりご奉納されました。

石製でお賽銭を入れますと、チャリ〜ンと音がします素晴らしいものです。

今後、亀田家の先祖のご供養と、また家内の安全を祈念させて戴きます。

誠に有り難うございました。

◎日蓮大聖人

『聖語カレンダー』《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58×横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日（日蓮宗で重要な日）も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎平成二十九年「暦」

一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『**九識霊断法**』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『**霊**』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願いします。
☎776-5840

『位牌壇』募集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数（最長三十六回）はご相談下さい。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『**家内安全**』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『**聖徒タイムズ**』・寺報等の援助などに活用します。
会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

日蓮大聖人と大黒様

日蓮大聖人は、大黒様の信仰の大切さをお弟子に勧めております。

「あなたがもし家に大黒様をお祀りし、一生懸命法華経・お題目を以て供養し信仰したならば、日々安楽にすごされるし、また諸願が成就し、更に現世安穩・後生善処の樂を得る事が出来るだろう」と教えられました。

以来、大黒様は日蓮宗の守護神として各寺院や檀信徒の家にお祀りされるようになりました。

特に「日蓮宗大荒行堂」の第参行では、『大黒相承』という秘伝の奥義が相伝されるなど、大黒天信仰の大切さが今も受け継がれてきています。

どうか檀信徒の皆様も、大聖人が勧められます大黒様を家にお祀りし、守護神として法華経・お題目をもつて祈念し、家内の安全を守ってもらえるようにしましょう。

また、家に祀られていても、ホコリをかぶつたままで忘れられている大黒様は、必ずお寺に持参して一年の垢を落とすようにしましょう。

当日参拝出来ない方は、大黒様をお寺にお早めにお預かり下さい。

大黒様は大切に！

新規大黒様のお申込み

新たに枳入りの大黒様をご希望の方は、事務所前に飾っています見本をご覧になり、お早めにお申込み下さい。

- 一升枳（手彫り）・・・六万円
 - 五合枳（手彫り）・・・五万円
 - 一升枳（機械彫り）・・・三万五千元
- 【開眼・ご幣代が含まれます】
- 《いずれも 分割可能》

教宣部員の募集！

檀信徒の皆様の中で、蓮華寺、ご先祖・自分のご信仰の為に活動をご希望の方は『教宣部』に入部して下さい。

年間行事の奉仕の他に「交流会・喜寿を祝う会」などの親睦会も行っています。

老若男女を問いませんので、どしどし入部下さい。

十一月の行事

一 日（火）盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り「霊神符」の交換の日です。
- ・お守りは、お勤めに参拝してお経・お題目を唱え感謝の心を込めて戴くようにしましょう。
- ・聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。
- ・檀信徒の皆様は必ずお守りを持ちましょう。



十三日（日）日蓮大聖人の御命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- ・如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
- ・檀信徒の皆様は日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。
- ・十一月十三日は、当山の本家寺の京都大本山「妙顕寺」の開基『日像上人』の祥月命日に当りますので、共に御回向申し上げます。

十九日（土）檀信徒研修会（唱題行）午後七時より

☆奉仕のお知らせ

⑧今月は奉仕活動を行います行事はありません。

どうか毎月の『盛運祈願会』『十三日のお勤め』『檀信徒研修会』に積極的に参加して下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

⑨『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようにお願い致します。

◎『十三日のお勤め』のお経練習用に「カセットテープ・CD・お経本」を販売しています。

安心をもたらす信心

大黒祭

十二月四日 (日)

昼十二時半より



(大黒様の行水・祈願・福引あり)

- ※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。
- ※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。
- ※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。
- ※新たに柵入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早めに事務所までお申込み下さい。